

I 業務運営・財務内容等の状況
 (3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標
 ① 評価の充実に関する目標

中期 目 標	○ 大学の活動全般について、自己点検・評価、外部評価を充実させ、教育研究の質の向上及び業務運営の改善を図る。		
	中期計画	年度計画	進捗 状況
	【32-1】 教育研究活動及び管理運営の状況について、定期的に多面的な自己点検・評価、外部評価を実施し、評価結果を業務改善に活用するとともに、その内容を学内外に公表する。	【32-1-1】 大学評価室において、「中期目標・中期計画進捗管理システム」を運用し、中期目標・中期計画、年度計画の一元管理を継続して実施するとともに、地域貢献事業に関する評価、国際化推進事業に関する評価など外部有識者を交えて行う評価の評価結果等を業務改善に活用する。	Ⅲ
		【32-1-2】 全学的な自己点検・評価を実施する。	Ⅲ
		【32-1-3】 本年度に実施した自己点検・評価の結果をホームページ等により学内外に公表する。また、平成28年度に受審した国立大学法人評価の実績報告書及び評価結果並びに明らかになった課題等に対する改善措置をホームページ等により学内外に公表する。	Ⅲ

I 業務運営・財務内容等の状況
 (3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標
 ② 情報公開や情報発信等の推進に関する目標

中期 目 標	○ 教育研究活動の情報を積極的に発信し、大学の知名度を高める。
--------------	---------------------------------

中期計画	年度計画	進捗 状況
<p>【33-1】 学内の教育研究成果を迅速に把握・発信できる体制を整備し、広報戦略に基づき、発信する情報内容を充実させるとともに、多様な広報媒体により、多面的な広報活動を行う。</p>	<p>【33-1-1】 教育研究成果の迅速な把握・発信のため、ホームページの運用方針及び体制に従った運用を行う。また、プレスリリースのマニュアルや報道機関への情報提供に関する報告方法について周知を図るとともに、活発な情報発信を行う。</p>	IV
	<p>【33-1-2】 情報発信内容を充実させるため、学生と教職員による公式広報チーム等と連携して情報を収集し、ホームページ、SNS（Facebook, Twitter, LINE）を活用した情報発信を継続して行う。</p>	IV

(3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する特記事項等**○戦略的・効果的な情報発信の推進**

年度計画通り教育研究成果等の情報発信力を強化するため、平成28年度整備したホームページ運用方針及び体制に従った運用を行うとともに、プレスリリースのマニュアルや報道機関への情報提供に関する報告方法について、ホームページ及び事務情報ポータルにおいて各種様式を公開することで、全学的な活用を図ったうえで、さらに、年度計画では予定していなかったが、適切な情報発信等を推進するため、新たに教職員の著作権、肖像権等に対する適切な取扱いと理解を深めることを目的とした「教職員著作権等研修会」を開催し、教育研究活動や業務活動を想定したケーススタディの解説を含めた実用的な研修を行った。

また、学生広報チーム「K-NOSBY」が中心となり、本学の魅力を学生の目線で発掘・発信し、本学の認知度やブランド価値向上を目指して活動しているが、平成29年度には、年度計画通り従前より開設している「Facebook」、「Twitter」、「LINE」による情報発信に加え、新たな情報発信ツールとして、「K-NOSBY」のホームページ及び「Instagram」を新設するとともに、これまでの「K-NOSBY」の活動を学内外へPRするための展示会を新たに開催したほか、さらに、訴求力の高い動画を計画的に発信し、効率よく本学の認知度を高めるため、動画共有サイトYouTubeに本学公式チャンネルを新たに開設し、本学所属教員や海外一線級研究者ユニットの研究テーマ・内容を紹介する動画を作成のうえ本動画チャンネルに掲載した。なお、本動画は、英語のキャプションも挿入し、国内にとどまらず、海外に向けても本学の魅力を発信するものとなっている。

<関連計画：【33-1-1】【33-1-2】>

○定量的指標による事業の進捗管理の実施

「中期目標・中期計画進捗管理システム」を運用し、中期目標・中期計画及び年度計画の進捗管理を実施し、それに加えて、中期計画や年度計画、各種補助金事業、概算要求に係る評価指標等において、達成すべき様々な定量的目標をKPI (Key Performance Indicator) として、学長のもと、一元的に進捗状況をフォローし、平成28年度に構築した各事業実施のマネジメントを行う仕組みにより進捗管理を行った。

また、本学が掲げる9領域約180個の定量的指標について、平成29年10月と平成30年1月に学長直下の大学評価室が一元的に学内各部局よりデータを収集し、その目標達成の見込みについて分析を行った。それを踏まえ、学長をトップとした本学の戦略企画組織である大学戦略キャビネットにおいて、全体的な状況を学内で共有するとともに、進捗がおもわしくない4つの計画について、現状を聴取のうえ、対応の方向性を決定し、事業実施担当部局に指示を行った。なお、平成30年6月には平成29年度の総括を行う予定である。

<関連計画：【32-1-1】>

○教育研究等の内部質保証のための自己点検・評価の実施

本学における教育研究等の内部質保証の一環として、本学が重点的に進めている機能強化に向けた取組や教育研究等の質に関する定量的指標（KPI）といった本学が注目する又は社会的に注目される項目に特化した全学的な自己点検・評価を実施した。本学の教育、研究、社会貢献、国際化を担う各実施組織による自己分析を行ったうえで、その分析結果をもとに大学評価室において評価報告書を作成し、平成30年3月にホームページ掲載及び冊子配布などにより学内外に公表した。また、国立大学法人評価の実績報告書及び評価結果並びに明らかとなった課題等に対する対応策・対応状況について、9月にフォローアップを実施し、そ

の結果を大学評価室において取りまとめを行い、11月に本学ホームページにおいて公表した。

<関連計画：【32-1-2】【32-1-3】>